

南大沢中学校区地域づくり準備会 議事概要

日時	令和3年(2021年)11月21日(日)10:00~11:45
場所	南大沢中学校3階 家庭科室
出席者	参加者:飯田、遠津、柿島、木村、榊、佐藤、高津、高橋、田中、廣田、福澤、宮武 高齢者あんしん相談センター南大沢:青山 第1層生活支援コーディネーター:今泉 はちまるサポート由木東 CSW:柏原 八王子地域 PAL-ETTE:黒田、今居 未来デザイン室:今川、野田、安齋、橋本 南大沢保健福祉センター:小池 土地利用計画課:沼田、八木岡
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・南大沢中学校区地域づくり準備会資料 ・資料1 長房中学校区の地域カルテ(案) ・資料2 中学校区別ワークショップ第2回検討結果 ・資料3 地域づくり推進会議参加確認書の提出について(依頼) ・参考 南大沢中学校区における中学校区別ワークショップのアンケート結果について ・参考 令和3年度(2021年度)南大沢中学校区の実施スケジュール(案)

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. 地域づくり推進事業について

未来デザイン室から、地域づくり推進基本方針、地域づくりが目指す姿、地域づくりのイメージ図、地域づくり推進会議の概要、モデル地区の検討状況、今後の流れ等について、南大沢中学校区地域づくり準備会資料をもとに説明。参加者からの主な意見は、以下のとおり。

(参加者の意見)

- ・参考で配布されている会議のスケジュールはこの日程で決まっているのか。
→配布したスケジュールは現時点での仮日程。皆様に御確認いただき、地域活動等と日程が重なっている場合は、調整させていただくので、お申し出いただきたい。(未来デザイン室)
- ・地域カルテを作成した後、どう活用するのか。
→地域カルテは、令和4年度(2022年度)以降に地域の行動計画となる「地域別推進計画」を策定するための基礎資料として、御活用いただきたいと思います。また、地域の方にも配布し、地域活動にご興味を持っていただけたらと考えている。配布対象や方法は皆様と今後検討していきたい。(未来デザイン室)
- ・南大沢駅周辺は東京都のスマートシティ事業が進められている。そこでもワークショップが行われているため、ぜひ東京都と連携して取り組んでほしい。
→地域づくり推進事業における地域の意見を、スマートシティ事業においても共有したいと考えている。今後必要に応じて東京都と連携を図っていく。(土地利用計画課)
- ・南大沢は3丁目、4丁目には町会がなく、各集合住宅の代表が集まり連絡協議会を作っている。しかし、今回の準備会のメンバーとして入っていない。その意見が入らなくて大丈夫なのか。
→今後地域として、どのように合意形成を図っていくかが大事になってくる。町会・自治会に関しては、八王

子市町会自治会連合会から推薦いただいでご参加いただいでいる。令和 3 年度(2021 年度)はこの参加者で開始し、令和 4 年度(2022 年度)以降集合住宅の連絡協議会からどなたか御推薦いただくとか、柔軟な方法をとればと考えている。また、地域カルテの作成の際は、広く地域の皆さんからアンケートも実施する予定。

3. オリエンテーション

出席者全員による自己紹介。

4. 中学校区別ワークショップ(第 2 回)の検討結果を振り返ろう

八王子地域 PAL-ETTE が、資料2「中学校区別ワークショップ第 2 回検討結果」をもとに振り返りを行った。

○南大沢中学校区 A-1

- ・「ありたい姿」としては、「だれもがつながれる街 南大沢」。
- ・「想い」としては、「多くの資源や情報があり、地域活動を実践している人も多いが、単発で終わってしまう。学生、障がい者、外国人、高齢者、子どもなど、誰もがつながれる場所の確保、つながる仕組みづくり、安心できる関係づくり、情報共有が重要」であること等が語られていた。

【ワークショップで出たその他の主な意見】

- ・防災、その他生活に必要な情報、地域の活動団体の情報について、もっと地域から情報発信していけたら良いのではないかな。
- ・様々な立場の人や地域活動を行う団体のリーダーが定期的集まる意見交換会を開催したり、交流できる場所、SNS や紙媒体による地域の情報共有手段があったら良いのではないかな。

○南大沢中学校区 A-2

- ・ありたい姿は、「生きた声や今ある資産を活かしつつ、つながりづくりの再チャレンジ」。
- ・「想い」としては、「駅前の整備された歩車分離歩道、都立大学、スマートシティ構想等、南大沢ならではの資産を活かし、地域の情報の一元化、まちの中心づくりなど、市民と行政が歩み寄り、街づくりを進めていきたい」とのこと等が語られていた。

【ワークショップで出たその他の主な意見】

- ・南大沢駅を挟んで南北を往来しにくいので、コミュニティバスがあると高齢者が出かけやすくなる。
- ・5G 等の先進的なデジタル技術を活用したスマートシティが構築されるとよい。
- ・中学校の部活動が少ない。1つの学校単位ではなく、近隣中学校との合同や地域の単位で部活動を行うことを検討するべきではないかな。
- ・コミュニティの拠点として、集合住宅の空き部屋を活用した地域が運営する居場所をつくりたい。
- ・駅前に地域の掲示板が欲しい。

5. 参加者の「活動内容」、「課題」を共有しよう

○「活動内容」、「活動の課題」を付箋に書き出し発表。

(活動)

- ・地域防災(イラスト付きの防災マップを作成し全戸配布)の取組
- ・町会活動として、地域の様々な問題を話し合う場をつくったり、イベントを開催
- ・町会情報のオープン化
- ・高齢者の生活状況調査と相談機関の紹介やその他の個別支援、高齢者の居場所づくり

- ・ローカル情報メディアの運営
- ・青少年の健全育成の一環としての清掃活動
- ・サロン運営、子どもや高齢者の見守り活動
- ・多世代カフェ運営による地域の居場所づくり
- ・障がい者等の就労支援

(課題)

- ・活動資金がない。SNSによる情報発信等に不慣れ
- ・町会会員の減少
- ・地域住民だけでなく、地域に通う通勤者、通学者とのつながり、共助
- ・コロナ禍で希薄化した関係性の修復
- ・地域情報がみつけにくい
- ・清掃活動への苦情等もあり、活動団体と住民同士の相互理解が必要
- ・地域住民と子育て世代の交流や独居高齢者の外出促進
- ・地域の活動団体の連携、地域情報の一元化
- ・障がい者以外の様々な課題をもった方への支援

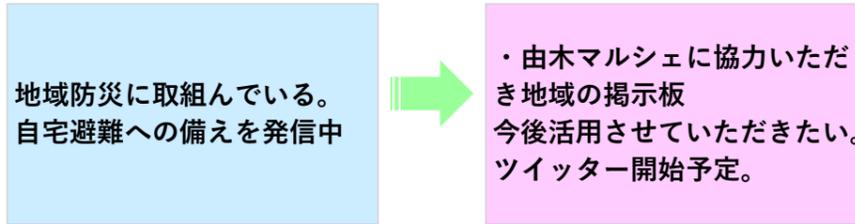
※ワーク内容の詳細は別紙「南大沢中学校区地域づくり準備会「準備会参加者の活動内容と課題」」参照。

6. 閉会

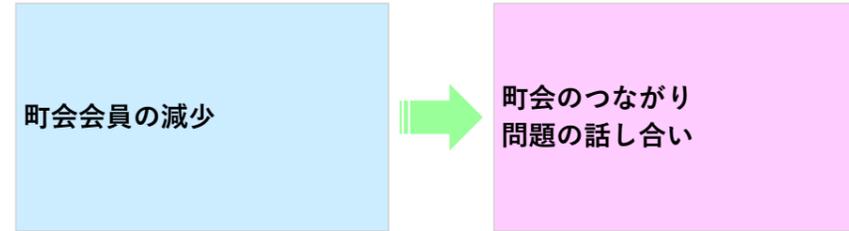
- ・令和3年度(2021年度)の南大沢中学校区地域づくり推進会議の開催日程案等を確認。
- ・地域カルテに載せたい写真等について次回会議へ持参いただくよう、事務局から依頼。
- ・地域づくり推進会議設置の説明をし、出席した参加者全員から参加確認書の提出により参加意思を確認。

以上

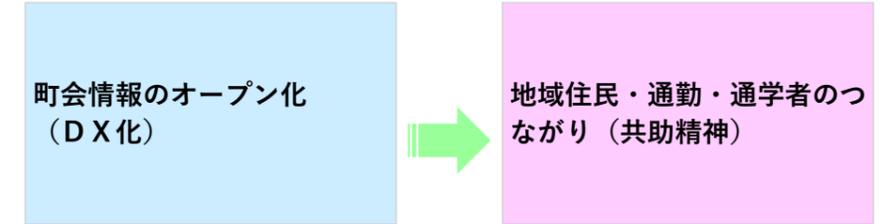
福澤（南大沢中学校学校運営協議会）



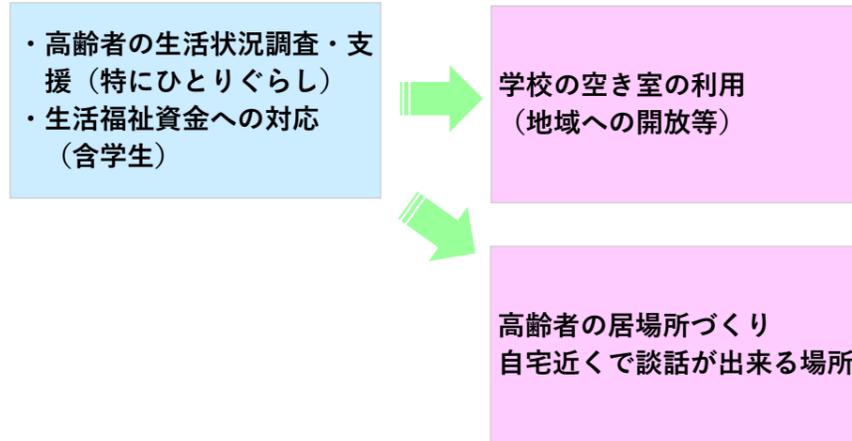
佐藤（南大沢町会町会長）



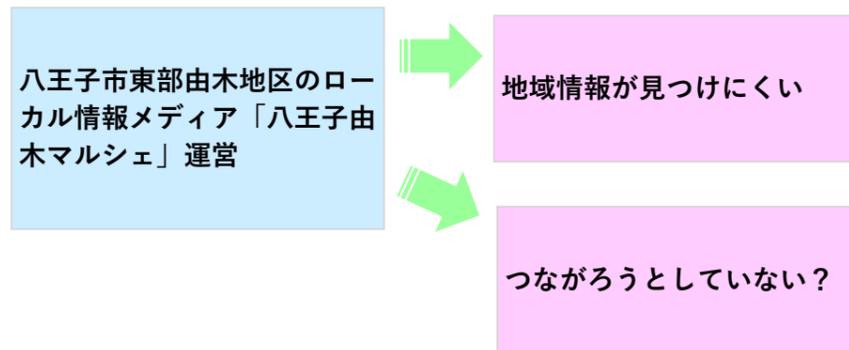
飯田さん（南大沢住民協議会）



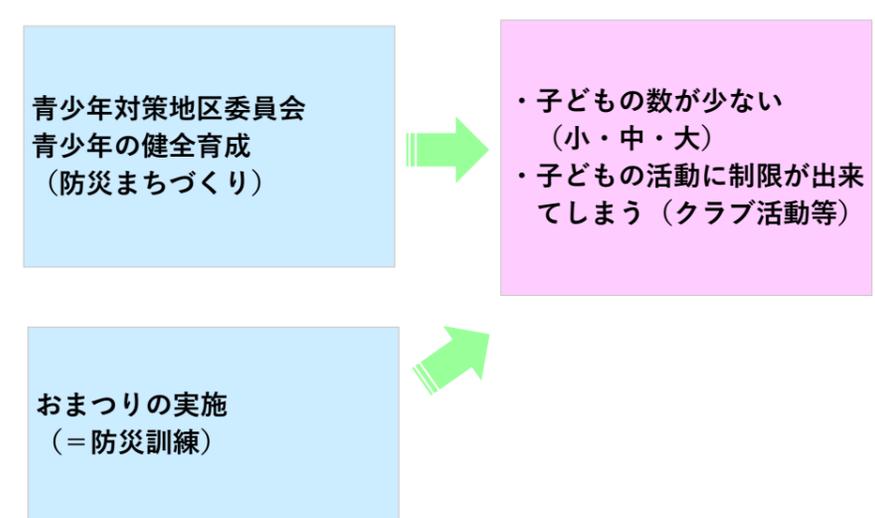
高津（第20地区民生委員・児童委員）



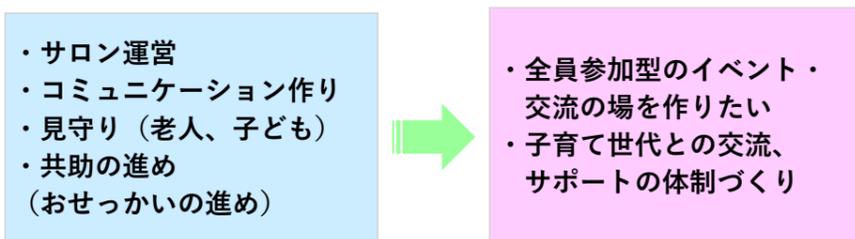
柿島（自営業）



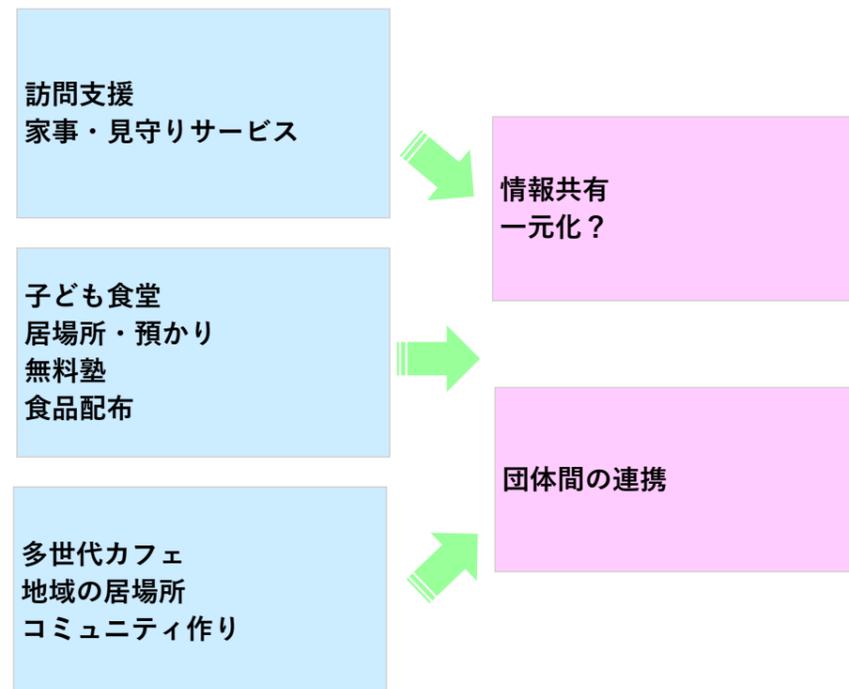
田中（青少年対策南大沢地区委員会会長）



木村（ふれあい・いきいきサロン（グリーンカフェ）代表）



廣田（バラエティクラブ）



遠津（社会福祉法人草むら事務局長）

